

日本家系図学会役員会の報告

2026.08.29

先日、2026.8.28(金)の午後3:00～4:40過ぎ頃に東京都広尾の末日聖徒イエス・キリスト教会本部の会議室で開催された**役員会の概要**を以下に報告します(以下の記事は、議論の順番とは異なり、内容に応じ関係あるところを一括りにしてある個所もある。内容は役員限り、敬称略)。

出席者：宝賀会長、真野・吉濱両副会長、関口常務理事、金子・高信理事、及び堀監事の7名。岸本理事、岩城理事より欠席と委任の連絡2名、渡邊顧問、赤坂顧問、渡邊常務理事、井澤常務理事、小杉理事の5名から欠席の連絡あり。

記

1 予算決算関係の問題

最近までの経理(昨年度の決算、来年度の予測等)について、計数説明がなされたが、監事チェックを受けることを前提に昨年度は承認。経費の計上時期を若干見直したが、今はなんとかギリギリ黒字状態の模様であって、種々運営の腐心をする必要は続く。新規会員よりは退会会員が多少多い傾向があるので、会員増につとめるとともに、増えてきた女性会員も踏まえて、会誌の充実など魅力策もいろいろ考えていくことが求められる。

2 今秋の次期総会

①いつもながらのファミリーサーチさんのご協力で会場確保ができたので、例年通りの11月の第一土曜日、**11/07(土)午後三時～**に渋谷の末日聖徒イエス・キリスト教会・渋谷集会所で開催することとする(昨年など例年と同じ場所です)。

②**総会後の講演**については、なお、次のとおりです。

渡邊顧問からの講師推薦とその感触を踏まえて、**鈴木佐さん**に決定。渡邊顧問からは感触がよい旨、お話もあり、かつ、千葉開府九百年の年でもあってテーマの巡り合わせもよいので、役員会の結論を踏まえ、渡邊顧問に本件の最終交渉をお願いすることにしました。今年の候補者は、次のとおりです。

※鈴木佐氏(千葉県職員で文書館勤務。千葉氏の家系に非常に詳しい方で本も書いています)。講演テーマは、「千葉氏の系譜について(仮)」ということが考えられます。

山崎善弘氏：東京未来大学准教授。近世地域社会史。著書に『日本近世の国家・領主支配と地域社会』(塙書房)ほか。

柴裕之氏：東洋大学非常勤講師。織豊期政治史。著書に『戦国・織豊期大名徳川氏の領国支配』(岩田書院)ほか。同氏は、来年の大河ドラマの主人公、豊臣秀長に関する研究業績があるが、今年は多忙が予想される。

③総会後の懇親会などは例年通りを考えます。

3 役員の方の動向及び改選に関して 種々話は出ましたが、今回の新規選任は、とくにありません。現在の役員のかたがたには、是非、そのまま任期を続けていただきたいということであり、なにか特別のご意向やご意見がおありの方は、事務局にご連絡下さ

い。

- 4 当会の会員増強のため、各役員のご尽力で会誌『姓氏と家系』の宣伝記事掲載が幾つかでなされてきたが、今後ともこの会員増強関係の活動につとめることとしたい。役員が他所で講演する際など、機会に応じて入会ガイドの配布等も考える。

以上の今回の役員会の判断・方向付けについて、ご意見・ご希望がおありの方は、ご連絡下さい。その辺の動向等を踏まえ、来る総会へ向けての準備を考えたいと思います。

最後に、酷暑ばかりではなく様々な天候不順、地震・豪雨など自然災害の続く時節柄、皆さまのご健勝をお祈りします。

(2026.08.28 : 宝賀文責。両副会長監修)